

様式第二

宅地造成又は特定盛土等に関する工事の許可申請書

<p>① 第 12 条第 1 項 宅地造成及び特定盛土等規制法 <b>第 30 条第 1 項</b> の規定により、許可を申請します。</p> <p>令和●年●月●日</p> <p>浜松市長 殿</p> <p>② 申請者 氏名 ●●株式会社 代表取締役●●</p>		③ ※手数料欄			
1 工事主住所氏名 (法人役員住所氏名)	浜松市中央区元城町●● ●●株式会社 代表取締役●● ●● (別紙参照)				
2 設計者住所氏名	浜松市中央区元城町●● (法人のとき) ●●株式会社 代表取締役●● ●● (個人のとき) ●● ●●				
3 工事施行者住所氏名	浜松市天竜区二俣町二俣●● 有限会社●● 代表取締役●●				
4 土地の所在地及び地番 (代表地点の緯度経度)	浜松市浜名区細江町氣賀●● (緯度: 34 度●●分●●秒、経度: 137 度●●分●●秒)				
5 土地の面積	700.00 平方メートル				
6 工事着手前の土地利用状況	空き地(宅地)				
7 工事完了後の土地利用	従業員用駐車場(宅地)				
8 盛土のタイプ	平地盛土 · <b>腹付け盛土</b> · 谷埋め盛土				
9 土地の地形	渓流等への該当 <b>有</b> · 無				
工事の概要	イ 盛土又は切土の高さ	5.00 メートル			
	ロ 盛土又は切土をする土地の面積	500.00 平方メートル			
	ハ 盛土又は切土の土量	盛 土	1,000.00 立方メートル		
		切 土	200.00 立方メートル		
	ニ 擁 壁	番 号	構 造	高 さ	延 長
		1	RC 造 L型	5.00m	10.00m
		2	練積式擁壁	5.00m	10.00m
	ホ 崖面崩壊防止施設	番 号	種 類	高 さ	延 長
		A	鋼製枠工	2.00m	20.00m
ヘ 排 水 施 設	番 号	種 類	内法寸法	延 長	
	ア	コンクリート U 型側溝	20.00cm	20.00m	

記入方法

- ① 【第 12 条第 1 項又は第 30 条第 1 項】盛土又は切土をする土地が第 12 条第 1 項(宅地造成等工事規制区域)と第 30 条第 1 項(特定盛土等規制区域)のどちらに該当するか確認し、該当しない規定は消してください。なお、二種類の規制区域にまたがる場合には、第 12 条第 1 項の規定としてください。
- ② 【申請者】工事主が申請者となります。(工事主とは、工事の請負契約の注文者又は自ら工事をする者となります。) 法人であるときは、法人の名称及び代表者の氏名を記入してください。代理人が申請する場合には、代理人名も記載してください。
- ③ 【手数料】記入は不要です。
- ④ 【工事主住所氏名】工事主が法人であるときは、工事主の住所氏名のほか、法人役員(会社法その他の法人の根拠法において規定する役員全員)の住所氏名を記入してください。
- ⑤ 【設計者住所氏名】設計者が法人であるときは、法人の住所、名称及び代表者の氏名を記入してください。設計者が個人であるときは、個人の住所、氏名を記入してください。申請内容に、「資格を有する者の設計によらなければならない工事(高さが 5 メートルを超える擁壁の設置又は盛土又は切土をする土地の面積が 1,500 m<sup>2</sup>を超える土地における排水施設の設置)」を含むときは、設計者個人の住所・氏名を記入したうえで、氏名の横に○印を付してください。
- ⑥ 【工事施行者住所氏名】工事施行者が申請時点で確定せず未定とする場合は、工事着手までに工事施行者の能力を証する書類(登記事項証明書、建設業許可通知書等)を提出し、工事施行能力に係る審査を受けてください。
- ⑦ 【土地の所在地及び地番】所在地及び地番については、「5 土地の面積」に記載する土地の地番を全て記載してください。(記入欄に書ききれない場合は、「外×筆」と記載し、別紙により記載いただいた構いません。) また、緯度経度については、盛土・切土の高さが最大となる箇所を代表地点とし、緯度及び経度を度分秒で小数点第 2 位以下を切り捨て、小数点第 1 位まで記載してください。緯度・経度は浜松市盛土・開発マップ(下のリンク参照)から計測ができます。(例: 浜松市役所 緯度 34 度 42 分 38.8 秒、経度 137 度 43 分 35.1 秒)  
(<https://experience.arcgis.com/experience/fc5c4dd7939a4d79bdb8fff2c6218f24>)
- ⑧ 【土地の面積】工事をする土地及び工事に関連する土地(工事に関連して一体的に利用する土地)の面積について、小数点以下第 3 位を切り捨て、小数点第 2 位まで記載してください。
- ⑨ 【工事着手前の土地利用状況・工事完了後の土地利用】具体的な利用実態を記載した上で括弧書きで下記の分類での土地の種別を記載してください。工事完了後の土地利用については建築物等の建築の有無等及び具体的な内容を記載してください。
- |        |   |   |
|--------|---|---|
| 土地の種別  | 定義  |   |
| 宅地     | 「農地等」及び「公共施設用地」以外の土地  |   |
| 農地等    | 農地  | 農地法・森林法による、「農地」、「採草放牧地」及び「森林」を指し、その利用に必要な農道、農業用排水施設を含む。(不動産登記法の地目ではない。) |
|        | 採草放牧地   |   |
|        | 森林  |   |
| 公共施設用地 | 道路、公園、河川等、公共の用に供する施設の用に供されている土地(供されることが決定している土地を含むが、供されなくなることが決定している土地は含まない。) |   |

ト 崖面の保 護の方 法	上記擁壁にて保護		
チ 崖面以外の地表面の保 護の方 法	土羽法面部は種子吹付		
リ 工事中の危害防止のための措 置	シートにて法面保護を行い、土砂の流出を防止する。 土のう等を設置し区域外への土砂・雨水の流出を防止する。 工事車両の出入口には交通誘導員を配置する。 工事区域外周に仮囲いを設置し、第三者への災害を防止する。		
ヌ そ の 他 の 措 置			
ル 工事着手予定年月日	令和●年	●月	●日
ヲ 工事完了予定年月日	令和●年	●月	●日
ワ 工 程 の 概 要	別紙工程表のとおり		
11 そ の 他 必 要 な 事 項	林地開発許可手続き中(●年●月許可取得予定)		
※受 付 欄	※決 裁 欄	※許可に当たつて付した条件	※許可番号欄
年 月 日			年 月 日
第 号			第 号
係員氏名			係員氏名

〔注意〕

- ※印のある欄は記入しないでください。
- 申請者、1欄の工事主、2欄の設計者又は3欄の工事実行者が法人であるときは、氏名は、当該法人の名称及び代表者の氏名を記入してください。
- 1欄の工事主が法人であるときは、工事住所氏名のほか、当該法人の役員住所氏名を記入してください。
- 2欄は、資格を有する者の設計によらなければならぬ工事を含むときは、氏名の横に○印を付してください。
- 3欄は、未定のときは、後で定まつてから工事着手前に届け出してください。
- 4欄は、代表地点の緯度及び経度を世界測地系に従つて測量し、小数点以下第一位まで記入してください。
- 8欄は、該当する盛土のタイプに○印を付してください(複数選択可)。
- 9欄は、溪流等(令第7条第2項第2号に規定する土地をいう。)への該当の有無のいずれかに○印を付してください。
- 11欄は、宅地造成又は特定盛土等に関する工事を施行することについて他の法令による許可、認可等を要する場合においてのみ、その許可、認可等の手続の状況を記入してください。

- ⑯ 【盛土のタイプ】複数の盛土タイプに該当する場合には、全て選択してください。切土のみの場合には記載不要です。タイプの定義は下記のとおりとなります。
- 平地盛土：勾配1/10以下の平坦地において行われる盛土で谷埋め盛土に該当しない盛土
  - 腹付け盛土：勾配1/10超の傾斜地盤上において行われる盛土で谷埋め盛土に該当しない盛土
  - 谷埋め盛土：谷や沢を埋め立てて行う盛土
- ⑰ 【土地の地形】盛土・切土を行う土地が、浜松市盛土・開発マップで公表している「溪流等」の範囲に含まれる場合は「有」に○印を付してください。
- ⑱ 【盛土又は切土の高さ】盛土・切土の最大の箇所の高さについて、小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位まで記載してください。
- ⑲ 【盛土又は切土をする土地の面積】盛土又は切土をする全ての土地の面積の計について、小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位まで記載してください。(面積は盛土又は切土をする前後の地盤面の標高の差が30センチメートル以下となる箇所も含みます。)
- ⑳ 【盛土又は切土の土量】盛土又は切土をする土量の合計について、小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位まで記載してください。(土量は盛土又は切土する前後の地盤面の標高の差が30センチメートル以下となる箇所も含みます。)
- ㉑ 【擁壁・崖面崩壊防止施設・排水施設】平面図等と照合できるよう構造、種別ごと番号を付し記載してください。数が多い場合には別紙としてください。擁壁高さは見え高で記入してください。数値は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位まで記載してください。
- ㉒ 【崖面の保護の方法】擁壁、崖面崩壊防止施設の設置について記載してください。
- ㉓ 【崖面以外の地表面の保護の方法】法面緑化工やコンクリート張工などの方法を記載してください。
- ㉔ 【工事中の危害防止のための措置】工事中の法面保護、土砂・雨水流出防止、工事車両の出入・公道側の作業による交通事故防止の方策等について記載してください。
- ㉕ 【その他の措置】他の欄に記載しているものほか、特筆すべき措置を実施する場合は記載してください。
- ㉖ 【工事着手予定年月日】許可取得後直ちに工事に着手する場合は、「許可後直ちに」と記載してください。
- ㉗ 【その他必要な事項】宅地造成又は特定盛土等に関する工事を施行することについて他の法令による許可、認可等を要する場合においてのみ、その許可、認可等の手続の状況を記入してください。